

静岡 第7隊

参加数 : 指導者 5名 スカウト BS28人 (内男子16人、女子12人)
VS6人 (内男子4人、女子2人)

参加指導者 : 隊長 横田 貞子 (富士第2団)

副長: 山本真一 (富士第6団)、 高村賢一 (富士第2団)、
宮地飛鳥 (富士第9団)、 藤島沙公良 (富士第8団)

1. 事前訓練(活動) (事前訓練・発隊式・壮行会 等)

- 3月31日 発隊式(ラ・ホール富士にて、静岡第1隊と共に) 及び 第1回隊集会(17NSJ
概要説明、班長・次長の選出、班の連絡網順決定、班旗下書き、次回案内)
- 4月22日 GB訓練 及び 第2回隊集会(富士2団倉庫前広場にて班旗立日本一の練習)
- 5月6日 班集会 (各会場)
- 5月27日 第3回隊集会 (鉈の使い方訓練)
- 6月17日 班集会 (汚水処理器製作)
- 6月23日~24日、事前訓練キャンプ (県営水泳場北側臨時駐車場にて、静岡第1隊富士地区
メンバーと、現地を想定した班サイト、本部、広場の設営、夕食はパエリア)
- 7月8日 班長訓練 及び VS集会
- 7月21日 JR貨物富士駅にて積込み(静岡第1隊、第6隊、第7隊)
- 7月22日 富士地区壮行会 (フィランセ西館) 及び 富士まつり音楽パレード参加

2. 17NSJ期間中 (移動、サイト、活動、健康状態(事故)等)

- ・Cサブキャンプもかなり広がったが、配置されたサイトは遠くも近くもない場所でやり易かった。平らなことがうれしかった。コンテナに近かったことで荷卸しや荷詰めにサイトを開放して協力できたことはスカウトにも良い影響があったとみる。
- ・しかしながら、プログラムに参加したくて受付を待つ時間や、プラザで買い物の順番待ちをしていることももったいなかったなど感じる。
- ・期間中の活動に不安はなかった。事前の隊集会で「日本一」の練習をした成果がでて、これぞ班活動ありきと感じた。毎日の点検で「優秀班」がなぜ取れないかを考えたり、他団との混成の班員をまとめていく班長の姿に感動を覚えた。
- ・熱中症や軽度のやけどで隊本部にて休むスカウトも数人いたが、大勢に影響はなかった。これも事前の集会で薪割りの練習やスカウトの様子を見守った成果だと思う。
- ・朝食に味噌汁が毎日出たことや、熱中症対策として準備してきた飴や氷等が大活躍。
- ・長期の野営経験が少ないスカウトは当然のことであるが、中日を過ぎて気持ちが持たなくなっているようにも感じた。班のメンバーが補い合える環境作りで最後は笑って帰る事ができてよかった。

3. 大会本部・サブキャンプ・派遣団本部へ

◆場内プログラム・・・多くのプログラムがある中で、現地へ行くまでとても楽しみにしていたが、ふたを開けてみたら時間切れや定員オーバーなど活動場所へ行ってもトライもできずに戻ってきたスカウトの残念な顔を見るにつけ、待ち時間だけが腑に落ちない。受付のやり方をもう少し考えてほしかった。特に「日本一」のゲームに参加するとほかのプログラムができないといった流れは次回解消してほしい。テーマの設定はよかった。

◆エキスカージョンプログラム・・・場内のプログラムと日程が重複していて外に出れば場内プロができないことや、全てのスカウトに権利が与えてもらえなかったことは、不公平感が否めない。

◆プログラムスタッフの確保・・・プログラムの充実とは反対に、スタッフが不足していることでゲームに参加できないのであれば、例えば事前に「貴隊にはプログラム1にスタッフ〇名奉仕してください」と具体的な指示をお願いしたかった。色々な場面でスタッフに関わらなければならないことは理解していたのでなおさらである。スカウトの残念な表情が忘れられない。隊運営の面で難しい場合もあるが、的確に具体的な（例えばプログラム1：AM奉仕のお願い、〇〇会場に何時集合、持ち物は■■■など）依頼があつてほしかったし、「できれば奉仕してください」では双方の意志が通じず結果としてスカウトが残念なことになる。スタッフの確保とプログラムの充実は比例すると思うので、是非次回はこんなことにならないようお願いしたい。また、年配者の方よりもRSや20代30代の指導者にもっともっと前面で活躍してほしい。長いこと受付で待たされていた時に年配者の方々がただ見物している姿があった。残念だし若者がかわいそうにも思えた。スタッフの確保が難しいことは重々承知しているので、プログラムに合った年代のスタッフを選出すべきではないかと思う。

◆モジュールプログラム・・・一つのサブキャンプ丸ごと動くモジュールと違い、誰かが近くにいることで、留守番役が必要であった。反面、交流会などの企画や計画に役立っていた。

◆ハンドブック・・・早い時点で事前にほしかった。スカウトへの説明にコピーが沢山必要だったので、経費削減のためにも事前をお願いしたい。

【サブキャンプ】

◆日報などの報告書・・・メールでの対応であったが、もっとWi-Fiのエリアを確保してほしい。

【県連の派遣団本部】

◆同じサブキャンプ内にいてくださったことで安心感は半端ない。

県内の隊が近くにいたので相互協力もでき、以前のように離れ離れでないこともよかったと感じる。交歓会を楽しんで記念品の交換にうれしさを隠せないスカウトの姿も印象深かった。本当にありがとうございました。

※本部、サブキャンプ、派遣団本部のスタッフの皆様、たくさんの準備や安全管理、後方支援など、助かりました。感謝申し上げます。 弥栄